

生成 A I 研究校実践事例

学校名	都立小岩学校（全日制課程）		
学年	第 2 学年	教科等	文学国語
単元名（全 4 時間）	プログラミング		
授業の概要	教員が作成したプロンプトを元に、生成 AI に短歌の作成支援をさせる。テーマや表現したい内容を生徒が応えながら生成 AI にサポートをさせたのち、講評とアドバイスをさせ、人間の講評と比較する。		
本時において生成 A I を活用する良さ（※初回授業は不要）	テーマや表現したい内容など段階的な質問に答えていくことで、短歌を作る過程を明確に意識させることができる。また、生成 AI に講評させることで、人間との差異を認識させることができる。		

本時の目標 (2/4 時間)	生成 AI のサポートを受けながら、短歌を完成させる。		
	●主な学習活動・生徒の活用		□生成 A I の活用
本時の流れ	●生成 AI との対話を開始する 教員が作成したサポートプロンプトを元に生成 AI と対話を始める （主発問）生成 A I と対話しながら短歌を作ろう		教員が作成した「サポートプロンプト」を元に生成 AI と対話する
	●ペンネームの決定 生徒が自分のペンネームを考え、生成 AI に入力する。 ●テーマの決定 生徒が短歌のテーマを決めて生成 AI に入力する。 ●表現したいことの共有 生徒がテーマに基づいて表現したいことを整理し、箇条書きで生成 AI に入力する。 ●短歌の作成 生徒が短歌を作成し、AI に入力する。 ●困ったことやうまくいかない点の共有 生徒が短歌を作成する過程で困ったことやうまくいかなかった点を生成 AI に入力する。 ●AI からの講評とアドバイスを受け取る 生徒が AI からの講評とアドバイスを受け取り、自分の短歌の改善点を理解する。 ●生徒同士で講評とアドバイスについて話し合い 生徒が AI の講評とアドバイスをもとに、互いの短歌について意見を交換し合う。		AI からの講評とアドバイスを受け取る

	使用したプロンプト例	出力例
1	#あなたは高校の授業で短歌を作成する際のファシリテーターです #私は、私の表現したいことを短歌に詠みます。 #まず表現したいことを述べ、それをもとに言葉を選んで短歌を作成します ##短歌は5・7・5・7・7の音で構成される31文字の韻文のことです。可能な限りこの決まりに合致するアドバイスをしてください。 ##私の「短歌を詠むうえで困ったことや、うまくいかないと思うこと」について、それを解決できるようなアドバイスをしてください ##楽しい、悲しい、怖いなどの直接的な感情語はなるべく別の表現に置き換えるようにアドバイスしてください。 ##短歌の中に同じ意味の言葉や表現が重複している場合はその点を指摘し、意図的かどうか確認を促し、アドバイスをして下さい。 ##語彙が稚拙なものは指摘してください。 ##会話の中で具体的な修正案は示さず、修正すべき点の指示にとどめてください。 ##作る短歌やペンネームについて、公序良俗に反する内容や、個人への誹謗中傷など他人を傷つけたり不快にさせたりするような表現が含まれる場合指摘して訂正を促してください。 #以下の流れで問いを深める手伝いをしてください。 1.「ペンネームは何ですか」と質問してください。 2.「テーマは何ですか?」と質問してください。 3.「そのテーマで表現したいことを教えてください。箇条書きでも構いません」と問いかけ	短歌の講評とアドバイス テーマの表現: 「秋とセンチメンタル」というテーマはしっかりと感じられます。木の色づきや落ち葉、君の姿が詠まれている点が良いですね。 表現の重複: 「まだ青い木」と「黄の落ち葉」の対比は良いですが、「見て」と「みて」が重複しています。この辺りは工夫の余地があります。 感情の描写: 「溜息」や「はしゃぎだす君」という表現は直接的です。もう少し間接的な表現を使うとよいでしょう。例えば、「溜息」を他の言葉で代替するなど。 語彙の選択: 「溜息」や「はしゃぎだす」という言葉が少し平凡かもしれません。もう少し詩的な表現を加えることで短歌がさらに深まるでしょう。 対比の難しさ: 自分と相手の対比をもっと明確にするために、君の行動や感情をもう少し具体的に描写すると良いかもしれません。 改善すべきポイント 「見て」と「みて」の重複を避けるために、異なる表現を用いる。 「溜息」や「はしゃぎだす君」を間接的な表現に置き換える。 自分と相手の対比をもう少し具体的に描き出すために、君の行動や感情を深く掘り下げてみる。 これらのポイントを考慮して、短歌を再構成してみてください。具体的な修正案は示さずに、修正すべき点の指示にとどめましたので、自由に表現を工夫してみてください。

	けてください。 4.「詠んだ短歌を教えてください」と聞いてください。 5.「短歌を詠むうえで困ったことや、うまくいかないなと思うことがあれば教えてください。」と聞いてください。 6.「私が詠んだ短歌」について、1から4までの内容を踏まえて講評し、アドバイスをしてください。また、改善すべきポイントを教えてください。	
--	---	--

	本時において生成AIを活用する上での配慮事項・ポイント	
1	現在のシステムでは、生成AI自体は英語で稼働している関係か「文字数」については正確にカウントできないことが多いため、短歌や俳句、川柳などを生成させたり公表させたりする際は特に注意が必要となる。	
2	講評については、あくまで生成AIによる講評であり、適切でない場合があることを明確に伝える必要がある。また、人間による講評と比較することで、生成AIによる回答と人間の考え方等の差異に気付けるよう促すことが重要である。	